

2020年度 金町どんぐり保育園事業報告書

1. 2020年度の概要

園目標：

- ①元気な挨拶と返事（園児の見本となる第一歩として）
- ②ほうれんそう（連絡・報告・相談）を毎日行う。（職員間、職員と長：連携づくり）
- ③毎日の保育の振り返りを園長と行う（職員と長とのコミュニケーションや思いの共有等）
- ④職員の育成を丁寧に行う（重要：人的環境：職員のメンタルの安定、技能や知識の定着）
- ⑤新型コロナウイルスの感染者を出さない（園児、職員、保護者の健康管理、衛生管理の徹底）

2020年3月末で多数の退職者が出た。退職者が出た事で4月から入園児を迎えられるように職員の雇用を進めていたが、昨年12月の令和2年度入園児募集までに定員に対する職員の確保確定ができていなかった為園児募集ができず、そのため、たくさん入園希望者や在園児の兄弟姉妹の入園希望者0歳児、1歳児、4歳児を入れることができなかった。

2020年3月迄に定員に対する職員の確保ができたが、新卒者を含む新入職者が多いということで、5月入園の募集もできなかった。

職員の退職について、園児や保護者に不安等を与えないように、2月の保護者会で新入職者がいる事、経験のある職員がいること、入ることなど今後の態勢や職員配置等について、丁寧に説明をしたため、大きな混乱はなかった。

新型コロナウイルスの感染拡大によって緊急事態宣言が発令され、休園や保護者の協力による登園自粛で園児が少ない間、新人職員の教育、研修、新年度の保育計画についての話し合いや、職員の安全確保のために交代で出勤や在宅勤務で各自の書類の作成や保育の準備ができたことで、保育が再開されたときに、園児への対応や保護者との関わりにも余裕が持てたと思う。

また、新入園児の受け入れができなかった事は残念だが、新卒者や新入職者が多い中、各クラスの職員配置に余裕ができ、園児一人一人に丁寧な関わりができた。

緊急事態宣言中、利用者が少なかったことと給食調理業務を委託している会社の職員の安全確保（遠距離からの通勤）を考え、利用者には弁当の持参をお願いしてしまった事と給食運営再開に時間が掛かってしまった事について、深く反省し今後このようなことの無いようにしていく。

コロナウィルスの感染予防について、毎日の玩具や備品等の消毒、職員や保護者の手の消毒、検温、体調管理表の記入、不要不急の外出について自粛するようお願いをしたことで、園児や職員からの感染者がでなかった。

<1> 保育内容の充実・質の向上

<振り返り>

- ・職員一人一人への丁寧な時間をかけた関わりと指導。
毎日の保育の良かった点とできなかった事やうまくいかなかった事などを個別に聞き取り、次の日の保育をどの様にして行くのが良いか、一緒に考えるようにした。
- ・職員一人一人の課題を確認し、職員と副主任と園長がその課題をどの様にして克服していく

ことが良いのか一緒に考え「育成計画」を立てるようにした。

- 保育内容の充実について、担当職員だけではなく、経験者と一緒にまたは職員全体で話し合う機会を多く取り入れ意見交換やアドバイスをするようにした。経験者の意見だけではなく、職員の「やってみたい」「子どもが喜んで遊ぶだろう」という思いを聞き、安全面を確認しながら職員のアイデアや思いを尊重しながら計画を立てるようにしていった。
- 実際に先輩保育士や副主任等から丁寧なOJT研修を受け、保育の技術や知識を学んだり、保育の参考資料となる月刊誌の利用や参考本の利用、「先輩の保育を真似る」を推奨するなど、真似て同じ事を繰り返し行うことで技術をしっかりと習得していくことを指導した。やる気の向上につながった。
- 「真似をされる職員の保育の質」にも視点を置き、「一つ一つを丁寧に行う」を合い言葉に実践してもらった。指導する側も「見て真似をしてもらっただけではなく、手を取って、声を掛けて」が大切であること学んだ様だった。

<2> 子どもの保護者への支援

<振り返り>

- 保育参加（保護者の保育士体験）や保護者会・懇談会（各年2回）について、毎年度実施していたが、コロナウィルスの感染予防のため、中止した。保護者との十分な意見交換ができなかった事は、とても残念だった。
- 保護者への連絡事項等のため、春期の保護者会は、感染予防を踏まえ、クラスごとで実施した。後期に5歳児のみ希望の保護者の保育参加を実施した。5歳児の保護者にとっては、最後の参加であったため、実施を喜んでいた。
- 毎月、園だより、クラスだより、給食だより、保健だよりを発行し、情報の提供はできたが、個人面談も実施できず、園児の様子や保護者の育児の悩みを電話でお聞きするだけとなった。

<3> 外部機関との連携

<振り返り>

- 子ども家庭支援センターや発達支援センター、区役所等と連携を取り、要支援児の就学や、発達支援児の支援等を行った。

<4> 地域の子育て支援事業

<振り返り>

- 子育てひろば事業「ひだまりひろば」：子育て相談、身体重測定、誕生会などの行事への参加等は、コロナ禍のため参加者が少なかった。親子体験者も利用者が少なかった。
- 夏祭りなどの行事参加は、コロナウィルスの感染予防対策を行い、縁日の店だけの実施を考えていたが、中止し、在園児だけの祭を秋に実施することにした。クリスマス会（生活発表会）の見学も、冬になればコロナウィルスも少しは落ち着いてくるかと予測していたが、収まる気配がなく、園児のみの会とし、5歳児の発表を別日に設けた。
- 一時保育は、職員の確保ができず、今年度も休止中となってしまった。来年度には、職員の確保に向けて、努力していく。

<5> 次世代を担う職員の育成

<振り返り>

- 中学生の職場体験は、受け入れていたがコロナウィルスの感染拡大により、中止の連絡があった。しかしながら、高校生の職場体験や、養成校の実習やボランティア、子育て支援員の実習は受け入れることができた。新卒者は数年前に、自分が実習生と同じ立場だったことを踏まえて、優しく丁寧な対応や指導を心掛けてくれた。実習生も堅くならず実習を終えることができたようだった。

た。

<6> 施設長が力を入れて取り組みたい内容

<振り返り>

- ・異年齢保育から得られるもの：コロナ禍ではあったが、当園の方針である縦割り保育（合同保育）を適宜行ったため、園児に優しさや思いやりの心、意欲が育ってきたことで、異年齢児との関わりが子どもの育ちにとって大切であることが職員に分かったようだ。
- ・保育の環境について考える：保育には、人的環境、物的環境、自然環境など、保育の環境が重要であると伝えてきたが、環境づくりには、職員間の「ほうれんそう」（報告・連絡・相談）が大切であることを踏まえ、園長や副主任保育士と保育について話しあったり報告や相談ができる様にした。
また、月1回職員会議の日を使い、全員で保育室の清掃や整理整頓を行い、どの様な保育環境が良いか、話し合いながら少しずつだが整えられた。
- ・情報の共有：ラインや、ラインワークスを使い、クラス会議や乳児・幼児会議などで話あった事を素早く共有、振り返りを行うことができた。ヒヤリハットなども共有して行くことができれば良いと思う。
- ・園児に音楽の楽しさや歌うことの楽しさを伝えてほしいと思っていたが、ピアノの苦手な人も多く、十分に音楽の楽しさを伝えられなかったように思う。来年度は、もう少し歌や楽器演奏が楽しく保育に入れられると良い。

<6> 給食・食育活動・アレルギー対応

<振り返り>

- ・「安心安全な給食」を心掛けて、栄養士、調理師、調理補助者が調理をしてくれていたが、食の中で大切な味付けや見た目についてなかなか答えてもらえない事があり、給食調理を委託している会社とそれについて話し合いを何度か持った。「給食」は子どもがおいしいと言って食べて、心も体も満たされることが大切と考え、残食が多く、子どもが食べることに苦痛を感じる状況をそのまま変えることができないのであれば、委託会社を変更するしかないと思い、検討を始めていた。
委託会社の管理栄養士や本部の担当者とも何度も話し合い、徐々に改善、園児の食事の状況にも変化が見られ始めたので、2021年度も継続してお願いすることにした。食育活動にも積極的に提案やサポートを約束してくれた。
- ・毎月の給食会議（園長、クラス担当代表、栄養士、看護師）を行い、職員からの園児の喫食状況や味付け、食材の大きさや固さなどについて報告し合い、2回目の喫食時には喜んで食べ、完食ができ、残飯がなくなるよう話あった。献立会議（委託本部管理栄養士、園長）では、よりたくさんの食材をおいしく完食できるように、一つ一つを確認し献立を決めて行った。和食が多い献立だったものを、子どもが好んで食べられるような献立も検討して欲しいことも話し合った。
- ・食物アレルギーのある園児に対して、保護者を交えて医師の指示書を基に、個別の献立を看護師、栄養士、クラス担当、園長を交えて献立内容の確認を行い、安全でできる限り普通食の献立と栄養に大きな差がないように配慮し、作成してもらった。
- ・配膳台が不足していたため、料理の取り分けを園児のテーブルの上で行った際に、アレルギー児の前に普通食の食事を置いて料理の取り分け、配膳を行っていたところ、誤ってアレルギー児が普通食を食べてしまった。また、アレルギー児が普通食を食べてしまったことで、普通食が1つ不足してしまい、アレルギー児の膳をそのまま他児に提供してしまった。その日はアレルギー物質の食材は一切使用されていなかったため大事に至らなかったが、二度とこのような事が起きないように、配膳台を十分に用意すること、アレルギー児の前で配膳を行わないこと、アレルギー物質の食材の内献立であっても、普通食と分けて給食室から配膳すること、アレ

ルギー食の提供時には、給食室担当者、クラス担当者と十分に確認をし、周りの職員にもきちんと伝達をしてから配膳をする。（食器、テーブル、椅子は他児と違うものを用意している）保護者にも、すぐに連絡を取り、きちんと説明の上お詫びをした。

2. 児童利用状

月極利用児童受託状況

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	0	9	10	12	10	12	53
5月	0	9	10	12	9	12	52
6月	0	9	10	12	9	12	52
7月	0	9	10	12	9	12	52
8月	0	9	10	12	9	12	52
9月	0	9	10	12	9	12	52
10月	0	9	10	12	9	12	52
11月	0	9	10	12	9	12	52
12月	0	8	10	12	9	12	51
1月	0	8	10	12	9	11	50
2月	0	7	10	12	9	11	49
3月	0	7	10	12	9	11	49

延長保育利用状況 ※18時以降の契約利用延園児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総人数	16	2	36	76	83	104	118	89	101	99	117	142	1966
1時間	16	2	36	73	83	104	118	89	101	99	117	142	1963
2時間	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3

3. 保育園開所時間

開園時間： 7時00分～20時00分

標準時間： 7時00分～18時00分

短時間： 8時30分～16時30分

延長時間： 18時00分～20時00分

4. 職員の状況

(1)職員1年間の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍職員数	25	24	24	25	23	21	22	25	26	25	25	26
施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
主任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護師	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
派遣看護師	1	1	1	2	1	1	1	1	0	0	0	0
正規保育士	10	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11
派遣保育士	3	3	3	3	1	0	0	2	3	3	3	3
子育て支援員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保育補助	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
学生補助	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
委託栄養士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
委託調理師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
委バ調理師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
委調理補助	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
事務員	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
育休看護師	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0

(2)退職者の状況

令和2年6月30日 正規職員 保育士：1名 ※自己都合による

令和3年3月31日 正規職員 保育士：1名 ※自己都合による

正規職員 事務員：1名 ※自己都合による

令和3年3月31日 派遣 保育士：2名 ※契約満了のため

5. 運営報告

<2>実施した年間行事

行事	4月28日	こどもの日の会	全園児
	5月16日	親子遠足 ※コロナのため中止	全親子
	6月26日～27日	金町どんぐりお泊まり保育 ※延期	5園合同
	7月7日	七夕会	全園児
	7月10日	プール開き ※プール中止。水遊びのみ	全園児
	7月20日	どんぐりまつり ※9/14に延期	全園児のみ
	9月4日～5日	山梨白州お泊まり保育 ※中止	5園合同
	10月27日	ハロウィンパレード ※地域交流中止	全園児
	10月31日	運動発表会 ※各クラス時間差	全園児
	11月11日	七五三祝	全園児
	12月12日	クリスマス発表会 ※5歳児のみ	5歳児
	12月25日	クリスマス会	全園児
	1月5日	初詣	全園児
	2月3日	節分	全園児
	3月3日	ひな祭り	全園児
3月27日	卒園式	4・5歳児	

<3>給食・食育活動の状況

- 給食運営：委託業者：株式会社LEOC（栄養士、調理師、パート調理補助3名：計5名）
※献立は、株式会社LEOC本部の管理栄養士が園と協議し作成
- アレルギー児：2歳児男児（魚類）
- 食育活動：「いいなの日」毎月1回17日前後 全12回

<4>保健に関する実施結果

園児健康診断	年2回 5月、11月 0歳児健診：実施なし ※0歳児の受入なしのため
職員定期健康診断	年1回 新入職者は、入職時健診、定期健診あり
検便	毎月1回 全職員 ※委託については委託会社で実施提出
歯科検診	年2回 6月、12月

※毎月：身体重測定、毎週：爪の検査、毎日：登園時・昼寝時の園児の検温、職員・保護者の検温・体調チェック実施

<5>発行配布したお便り等

園だより	毎月1回月初 年12回
------	-------------

クラスだより	毎月1回月末 年12回
ほげんだより	毎月1回月初 年12回
給食だより	毎月1回月末 年12回
献立	毎月1回月末 年12回

<6> 職員会議等

合同職員会議	毎月1回 ※8月を除く ※コロナウィルス感染予防のため中止
園会議	13回 ※10月、3月は2回実施 ※8月はLTミーティングを実施
LTミーティング	週1回程度 ※不定期
クラス会議	毎日 ※保育の振り返り、連絡事項等
乳児・幼児会議	週1回程度
給食会議	年12回（園長、各クラス代表、委託栄養士、委託会社運営部）
献立会議	年12回（園長、委託栄養士、委託会社運営部）
アレルギー対応会議	年12回（園長、委託栄養士、担当職員、看護師、保護者）
保健会議	月1回（園長・看護師）

※施設長会議（系列園）、園長会議（区・私保連）各年12回参加 ※途中中止あり

<7> 避難訓練・引き取り訓練・防犯訓練

避難訓練	4月9日	図上訓練
	5月26日	火災、消火訓練
	6月18日	地震・洪水、消火訓練
	7月20日	火災、消火訓練
	8月18日	地震・火災、消火訓練
	9月8日	地震、消火訓練
	9月18日	引き渡し訓練
	10月12日	地震・火災、消火訓練
	11月26日	地震、消火訓練
	12月8日	地震、消火訓練
	1月20日	地震・洪水、消火訓練
	2月25日	地震・火災、消火訓練
	3月29日	火災、消火訓練

防犯訓練	5月29日
------	-------

※年4回3ヶ月に1度の予定だったが、コロナウィルス感染予防等により5月以降分は中止

<8> 研修

◎葛飾保育研究会：中止 ※コロナウィルスの感染拡大のため

◎その他外部研修

キャリアアップ研修	マネジメント研修	2名
-----------	----------	----

<9>その他

- ・7月27日（月）に東京都と葛飾区の立入り調査が入る。
特に保育、職員の配置人数等に問題はないが、3月に退職者が多数出たので、今後退職者が出ないよう、職員の処遇や長としての役割と職員とのコミュニケーション（意見交換や面談）を多く取り、働きやすい職場となるよう努力するように指導を受けた。

<総合的な振り返り>

- ・今年度は多数の職員の退職があり、また新卒者や新人職者が入り、園児の人的環境が大きく変わった。コロナウィルスの感染の心配に加え、職員の入れ替わりによる園児や保護者の不安や心配は幾許か計り知れない。年度当初、一刻も早く園児や保護者を安心させたいと園の焦りが見える中でも、私たちを信じ、子どもを預けてくださった保護者と、私たちを信じてくれた子どもたちに感謝の気持ちで一杯だ。園は園児の安全と楽しい一日を保証しながら、職員の技術、知識の指導はもちろんのこと、こまめな面談を行い、職員のメンタル部分を向上させ、各自の課題を共に見出し、毎月の目標設定や課題をどう克服するのがよいかサポート方法を副主任保育士と考え、毎日励まし、褒め、できないところは皆で協力するなど、職員に寄り添う形の指導改革を行ってきた。

園が職員一人一人に寄り添い、働きやすい職場はどんな職場か試行錯誤し、体制や保育のペアとなる職員の組み合わせに配慮するなどもしてきたが、職員の思う理想と園ができる現実、職員の技量等、職員の考える効率のよい大人本位の保育と、園の方針である子ども主体の保育との間にある溝を埋めようと努力したが、結果、今年度も2名の退職者を出すこととなった。

- ・保育園が増えた事で、保育士には選択できる職場が多くあり、思い通りにならなければ、退職していく連鎖は、どうにも止めることはできないているが、「子どもたちのために自分は何ができるのか」を求めて入職してくる新卒者は、技能、知識は未熟だけれど「自分が仕事をしやすいために」ではなく、純粋に「子どものこと」を思い、がむしゃらに子どもに向かう姿勢や一生懸命さに、こちらも頑張らなくてはと思える。まだまだ課題は一杯あるが、都度に園また園長として自らの行いについて、振り返り反省し、前向きに変化しながらも、これからも「一つ一つを丁寧に」「子どもの心に残る保育」を職員と共に考え進んでいこうと思う。

作成日：2021年5月10日 作成者：施設長 池 時子